



平成 28 年 11 月 2 日

各 位

上場会社名 株式会社 サンユウ
代表者 代表取締役社長 西野 淳二
(コード番号 5697)
問合せ先責任者 取締役執行役員財務部長 加藤 和彦
(TEL 072-858-1251)

平成 29 年 3 月期第 2 四半期の業績予想と実績値との差異
並びに通期業績予想の公表及び配当予想の修正に関するお知らせ

平成 28 年 8 月 2 日に公表しました平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間の連結業績予想と、本日公表の平成 29 年 3 月期第 2 四半期決算短信[日本基準](連結)において差異が生じたのでお知らせいたします。

また、未定としておりました平成 29 年 3 月期の通期業績予想を下記のとおり公表することとし、これを踏まえ、同じく未定としておりました平成 29 年 3 月期期末配当予想について、下記のとおり修正することといたしましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期第 2 四半期 (累計) 業績予想と実績値との差異

連結業績予想と実績値との差異 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	7,450	75	85	55	9.10
実績値 (B)	7,417	126	139	88	14.64
増減額 (B - A)	△32	51	54	33	—
増減率 (%)	△0.4	69.0	64.3	60.9	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期)	7,705	76	94	56	9.33

<差異発生の理由>

当連結会計年度上期におきましては、当社グループの主要需要家である自動車業界の生産活動が、熊本地震及び国内販売低迷の影響を受けたため、売上高は若干減少となりましたが、エネルギーコストをはじめとするコスト削減等に努めると共に、全社一丸となって生産性の向上に継続的に取り組むことで売上総利益率が改善し、各段階利益では増益とすることができました。

2. 通期業績予想の公表

平成 29 年 3 月期通期連結業績予想の公表（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績 (A) (平成 28 年 3 月期)	15,414	237	263	173	28.77
今回公表予想 (B)	14,900	260	280	180	29.78
増減額 (B－A)	△514	22	16	6	－
増減率 (%)	△3.3	9.3	6.2	3.6	－

<公表の経緯>

通期連結業績予想につきましては、需要家業界の活動水準が不透明なこと、並びに材料価格及び当社の販売価格水準を予測することが困難なことから未定といたしておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づいて公表いたします。

当連結会計年度下期における、主要需要家である自動車業界の生産活動は、上期比若干増加すると見られますが、建産機・農機業界では低迷が続いております。

このような事業環境下で、当社グループは引き続き収益の確保、生産性の向上及びコスト削減に取り組むことで、下期も概ね上期並みの売上高及び利益水準となる見込みであり、通期では若干の減収ながら各段階利益では概ね前期並みとなる見込みであります。

一方、材料価格につきましては、鉄鋼メーカーが原料炭の価格上昇を受けて値上げ要請する意向であり、当社のコストアップや販売先への転嫁などにつき不透明な要素が増しているため、その動向を注視いたしております。

(注) 本資料に記載の業績予想等につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定したものですので、実際の業績は今後様々な要因により本資料の数値とは異なる結果となる可能性があります。

3. 配当予想の修正

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成 28 年 5 月 11 日発表)	－	0.00	－	未定	未定
今回修正予想	－	－	－	7.00	7.00
当期実績	－	0.00	－		
前期実績 (平成 28 年 3 月期)	－	0.00	－	5.00	5.00

<修正の理由>

当社は、利益水準と財務内容を総合勘案し、事業の成長と共に、株主の皆様に対する適切かつ安定的な利益配当を行うことを基本方針としております。

当期の期末配当につきましては、事業環境における不透明な要素に鑑み未定といたしておりましたが、通期業績予想の修正を踏まえ、1株当たり7円の配当とさせていただきます。予定であります。

以上